

【横須賀市×関東学院大学・神奈川大学】

大学生に意識調査アンケートを実施

横須賀市では、包括連携協定を締結している関東学院大学、また神奈川大学にご協力をいただき、大学生の幸福感や働き方、結婚などに関する意識調査アンケートを実施しました。

両大学合わせて 753 人の大学生の回答をいただきました。

また、報告書をまとめるにあたり、関東学院大学からインターンシップに参加した学生が、データ集計に協力してくれました。

今回の調査結果は、今後の政策や施策の立案に向けた基礎資料として活用していきます。

アンケート結果の詳細については、横須賀市のホームページをご覧ください。

(URL)

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0830/upi/hyouka/data.html>

【調査概要】

調査対象者	関東学院大学の学生 神奈川大学の学生
調査方法	市が作成した Web 上の回答フォームより実施
調査期間	・令和6年3月 26 日 ~ 令和6年5月 31 日 (関東学院大学) ・令和6年4月 5 日 ~ 令和6年5月 31 日 (神奈川大学)
回収数	753 件 (男性:571 名 女性:182 名 その他:0名)

【結果のポイント】

(1)大学生の幸福度は 8 割以上

「幸せだと思う」の割合は 8 割以上。
性別による差は、ほとんど見られない。

(2)幸せだと思う理由は、友人関係がトップ

「幸せだと思う理由」で、最も多いのは「友人関係が良いため」が最も多く、「健康状態が良いため」、「家族関係が良いため」と続く。

各回答の割合が広く分散し、幸せを感じる理由は、個人によって多様であることがわかる。

(3)就職先選びは、職場環境を重視

「職場の雰囲気の良い」(75.2%)、「給与・待遇の良い」(75.0%)が非常に多く7割強。

続いて、「福利厚生充実」や「ワークライフバランスを実現できるかどうか」が上位に挙げられ、仕事をするうえでの職場の雰囲気や働きやすさなど職場環境を重視する傾向が高くなっている。

(4)働き方は、自分のキャリアも大切に

約4割が、「自分のキャリアや状況に応じて、転職してもよい」(38.2%)、「新卒で入社した企業・組織団体等で、ずっと勤めたい」(38.2%)と回答。これまでの終身雇用という形態を望む人と、自分の能力や置かれている状況にあわせた働き方を望んでいる人の二極化の傾向がみられる。

(5)将来の結婚の希望は、現在の幸福感が影響

「将来結婚したい」と思う回答は、約8割(78.1%)

男女別にみると、男性が約8割(81.4%)に対し、女性は約7割(67.5%)と、差がみられる。

また、幸福感との関連性をみると、「今、自分が幸せだと思わない」と回答した人は、「結婚したい」人の割合が約7割(65.9%)と、やや低い傾向となっている。

(6)子どもを持ちたいと思う人は、約7割

「子どもを持ちたい」と思う回答は、約7割(69.4%)。

男女別にみると、男性が7割(73.7%)に対し、女性は5割強(56.1%)と、男性の方が多い結果となった。

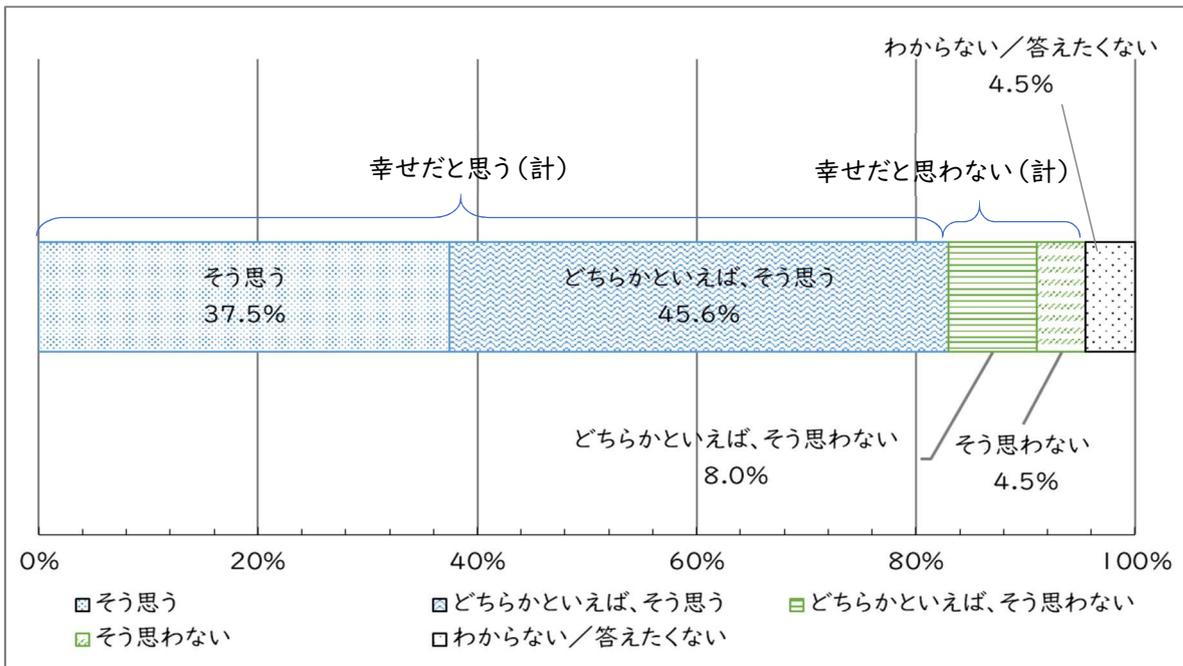
また「子どもを持ちたくない理由」を尋ねたところ、男性は金銭的な負担、女性は、金銭的な負担に加えて、心身の負担や仕事の両立の難しさなど、子どもを産み育てることに対し、様々な負担感を感じている様子がうかがえる。

◎大学生の意識調査結果の概要

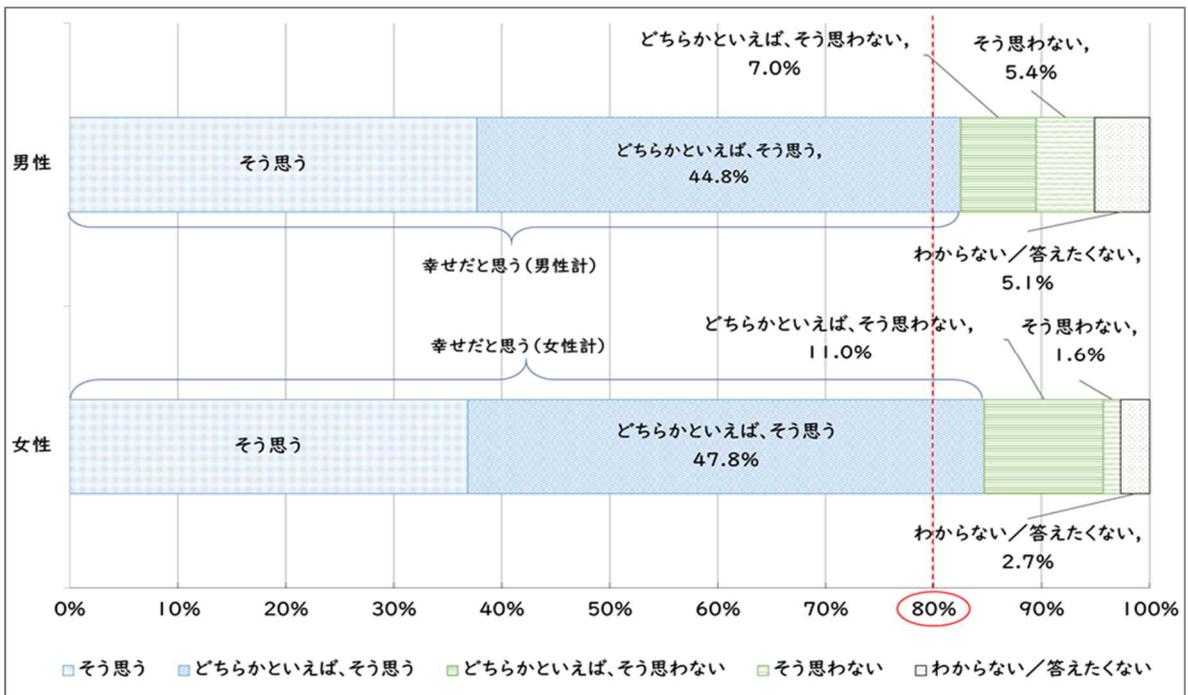
➤ 大学生の幸福度は 8 割以上

「幸せだと思う」の割合は 8 割以上。

性別による差は、ほとんど見られない。



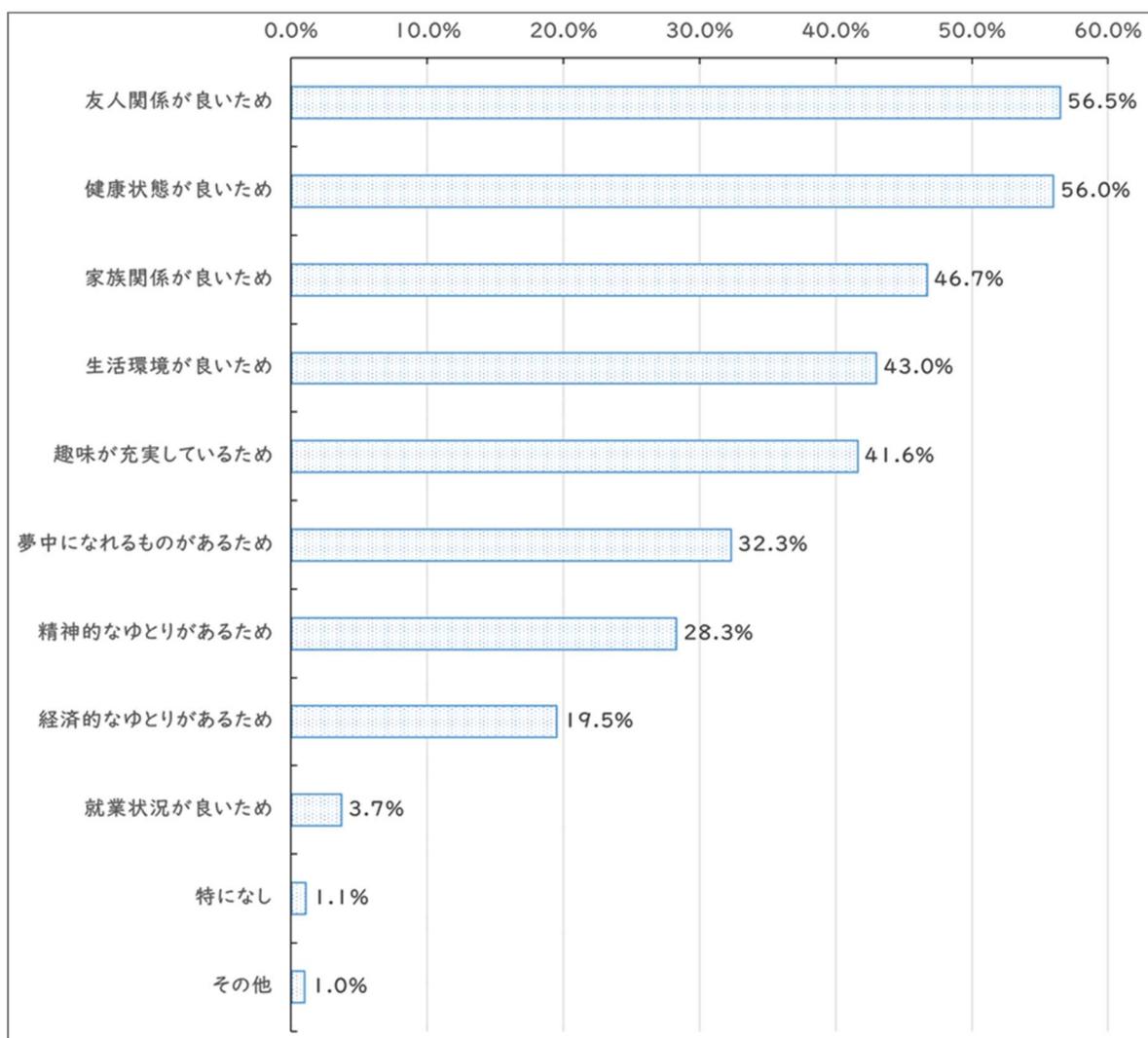
<幸福感×性別>



➤ 幸せだと思う理由は、友人関係がトップ

「幸せだと思う理由」で、最も多いのは「友人関係が良いため」が最も多く、「健康状態が良いため」、「家族関係が良いため」と続く。

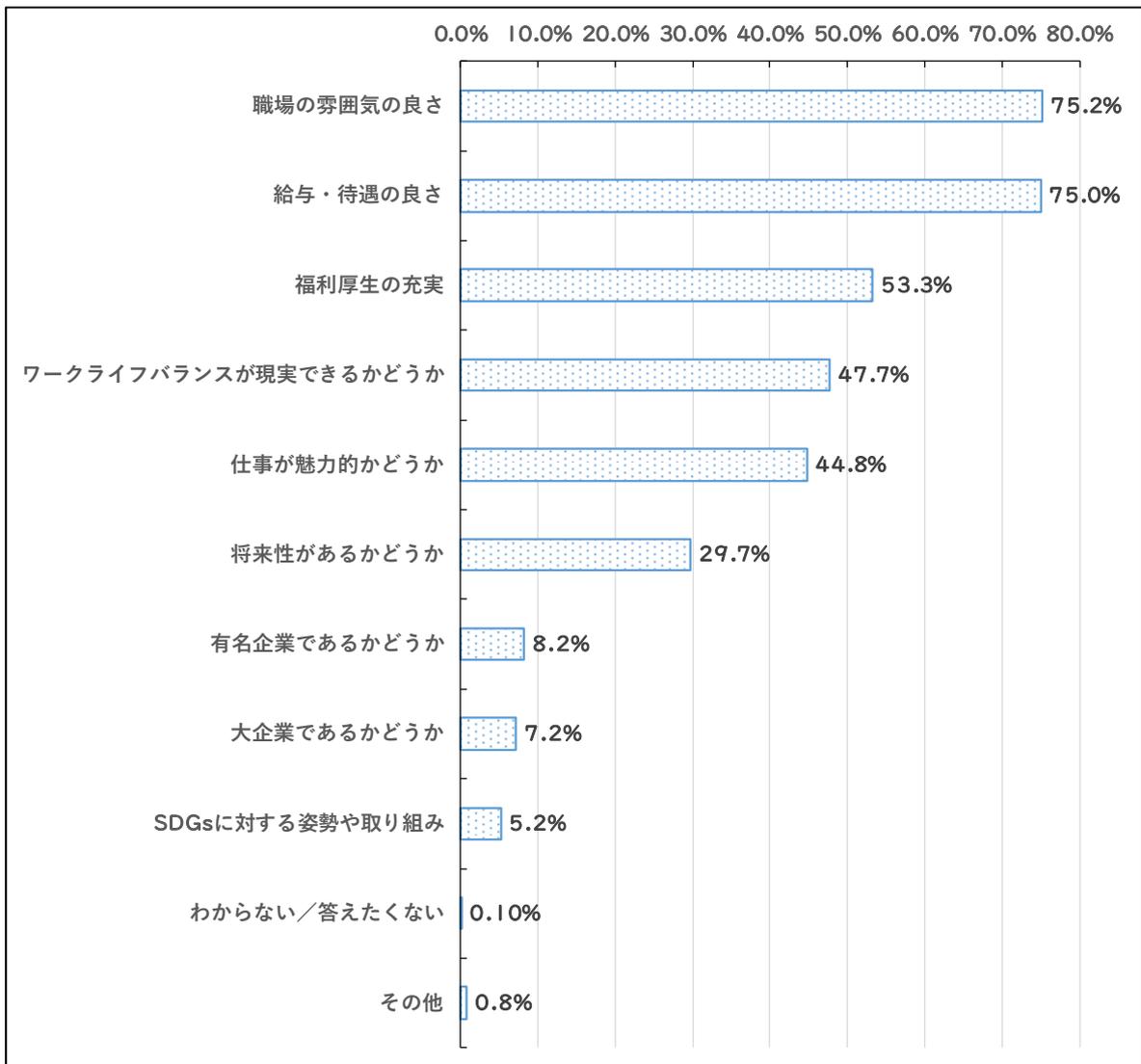
各回答の割合が広く分散し、幸せを感じる理由は、個人によって多様であることがわかる。



➤ 就職先選びは、職場環境を重視

「職場の雰囲気の良い」(75.2%)、「給与・待遇の良い」(75.0%)が非常に多く7割強。

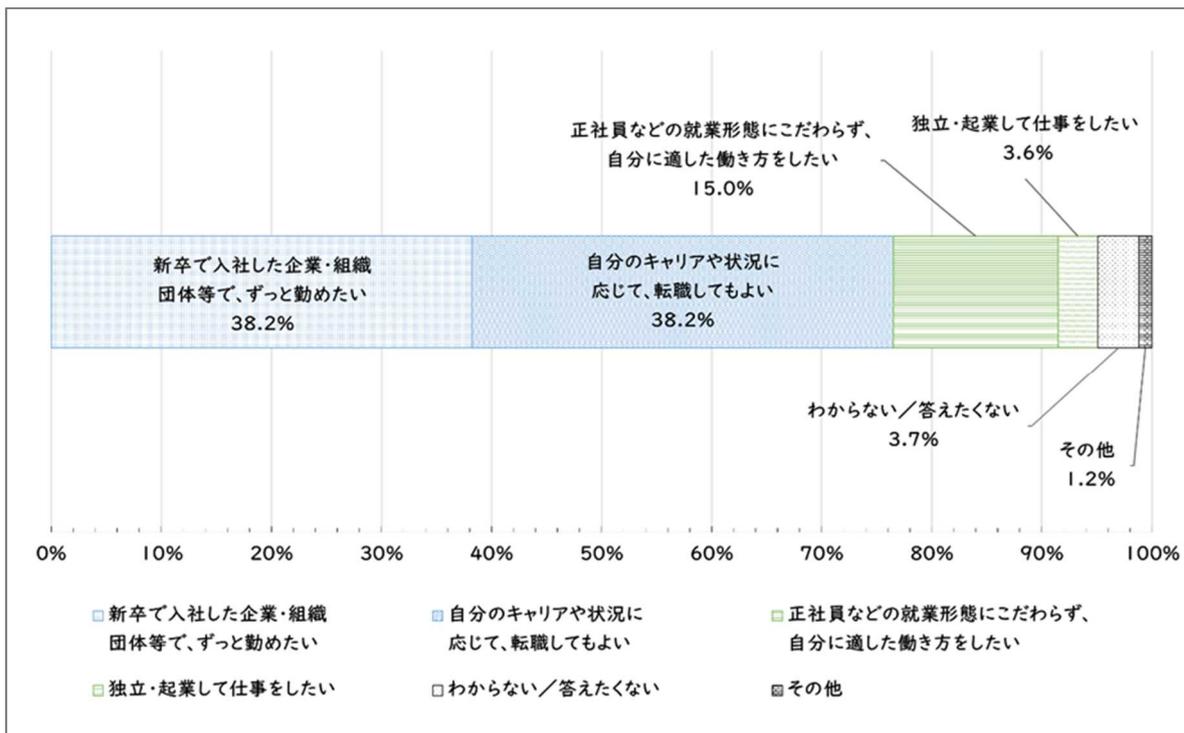
続いて、「福利厚生の充実」や「ワークライフバランスを実現できるかどうか」が上位に挙げられ、仕事をするうえでの職場の雰囲気や働きやすさなど職場環境を重視する傾向が高くなっている。



➤ 働き方は、自分のキャリアも大切に

約4割が、「自分のキャリアや状況に応じて、転職してもよい」(38.2%)、「新卒で入社した企業・組織団体等で、ずっと勤めたい」(38.2%)と回答。

これまでの終身雇用という形態を望む人と、自分の能力や置かれている状況にあわせた働き方を望んでいる人の二極化の傾向がみられる。

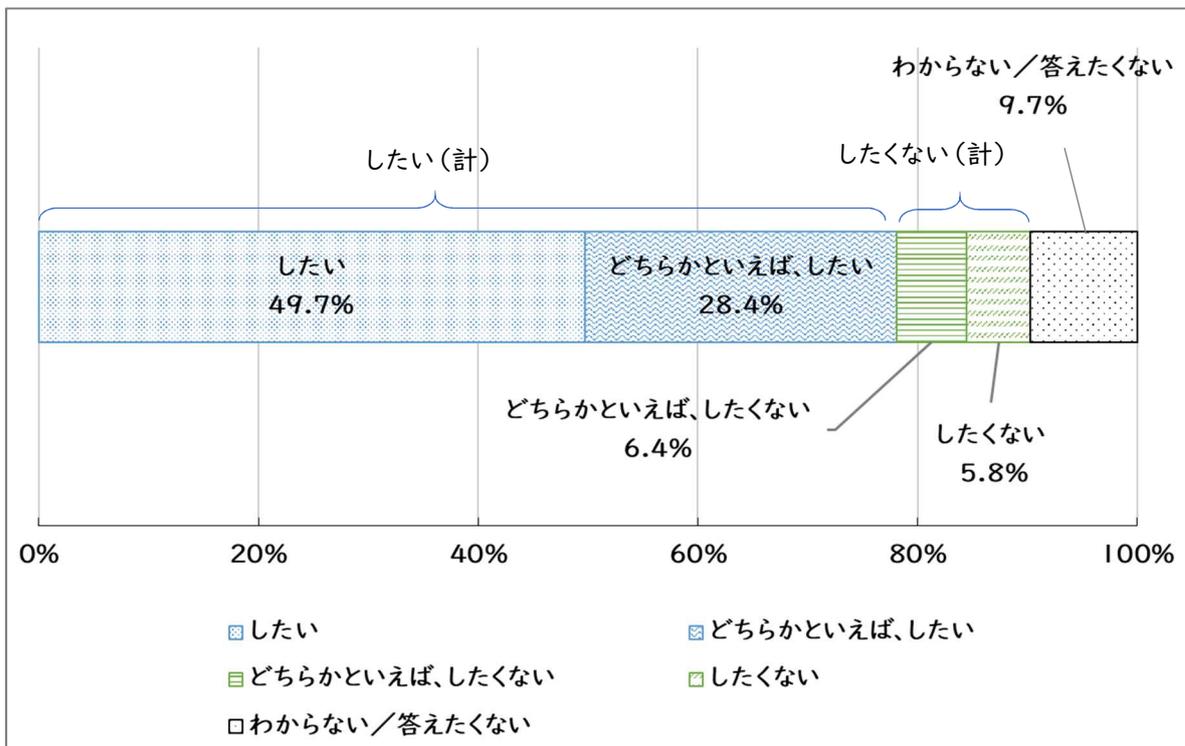


➤ 将来の結婚の希望は、現在の幸福感が影響

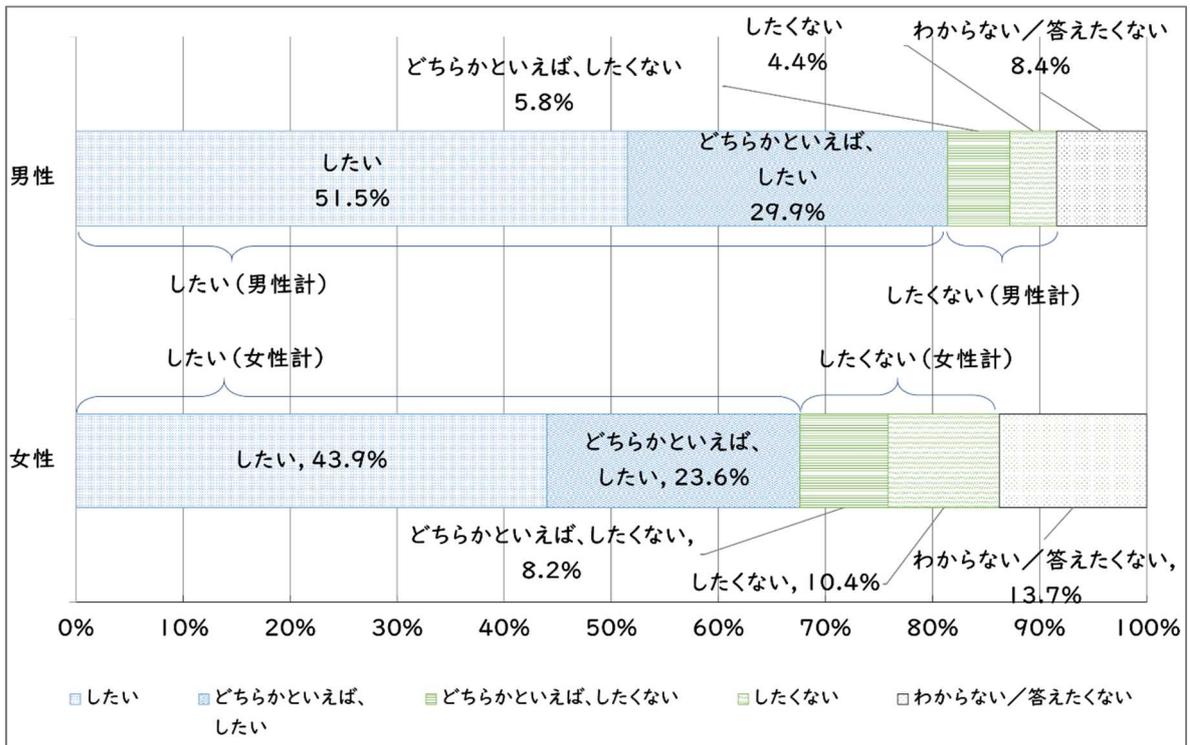
「将来結婚したい」と思う回答は、約 8 割(78.1%)

男女別にみると、男性が約8割(81.4%)に対し、女性は約7割(67.5%)と、差がみられる。

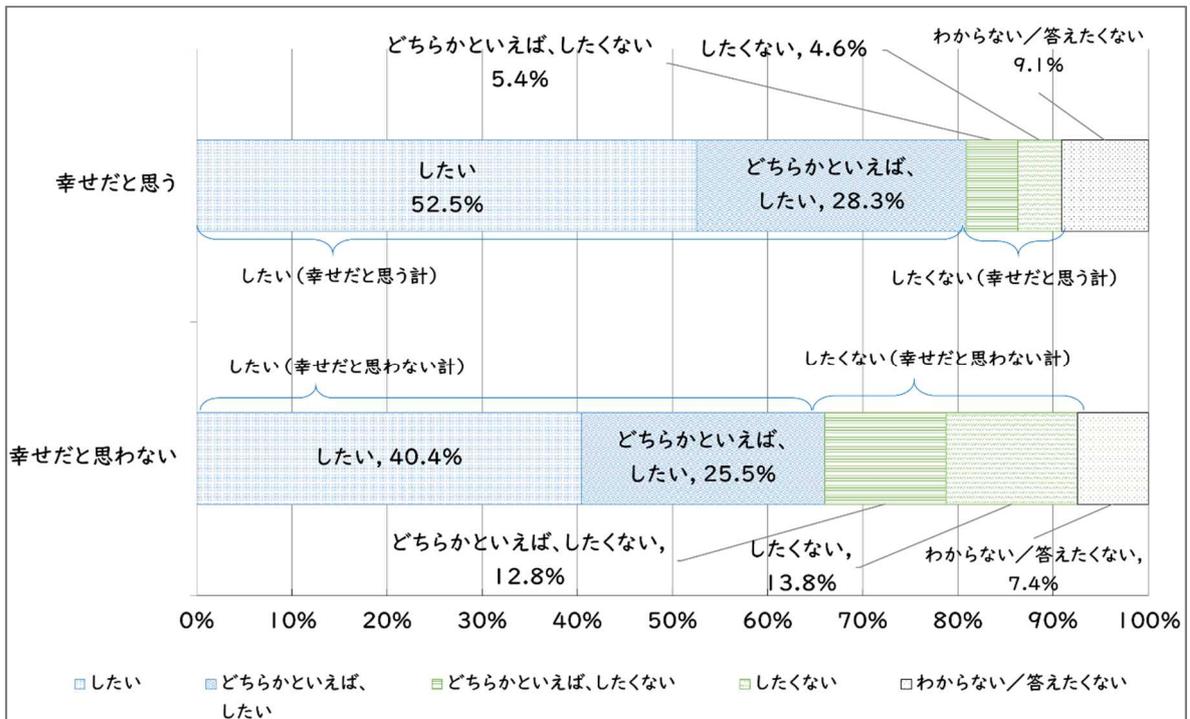
また、幸福感との関連性をみると、現在「自分が幸せだと思わない」と回答した人は、「結婚したい」人の割合が約7割(65.9%)と、やや低い傾向となっている。



<将来の結婚の希望×性別>



<将来の結婚の希望×幸福感>

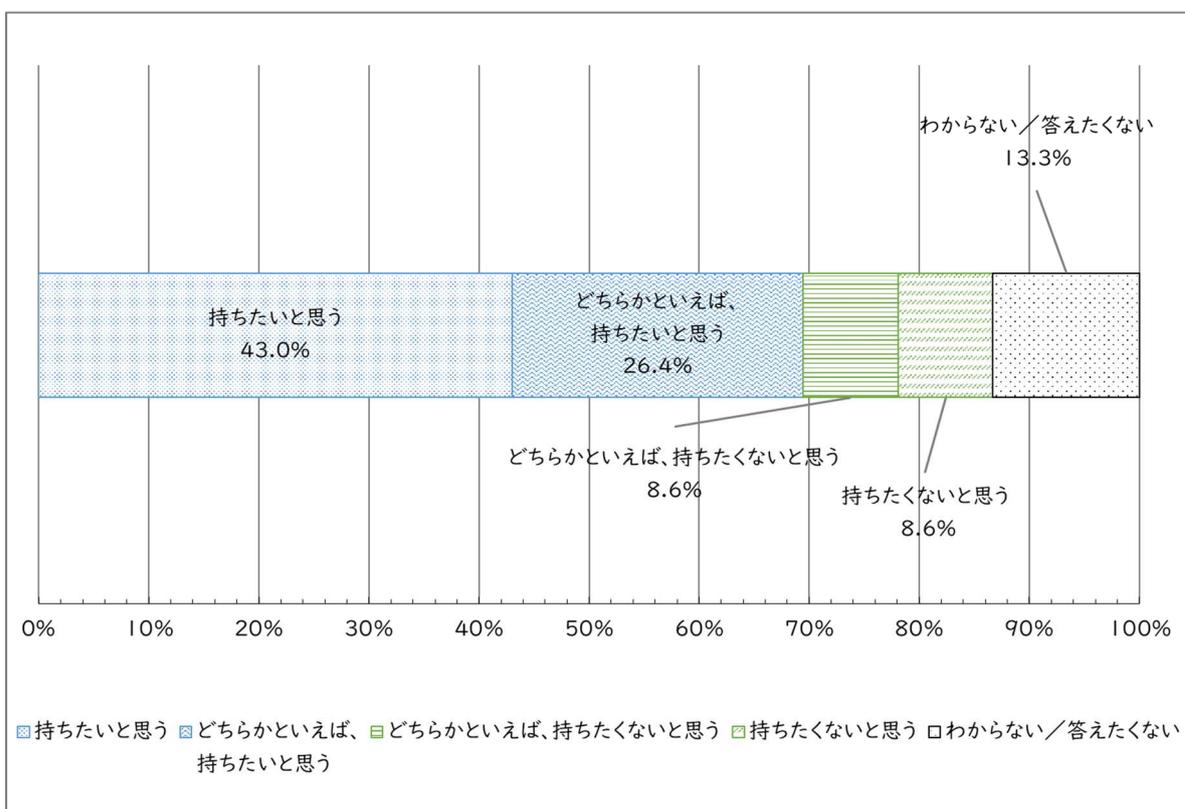


➤ 子どもを持ちたいと思う人は、約7割

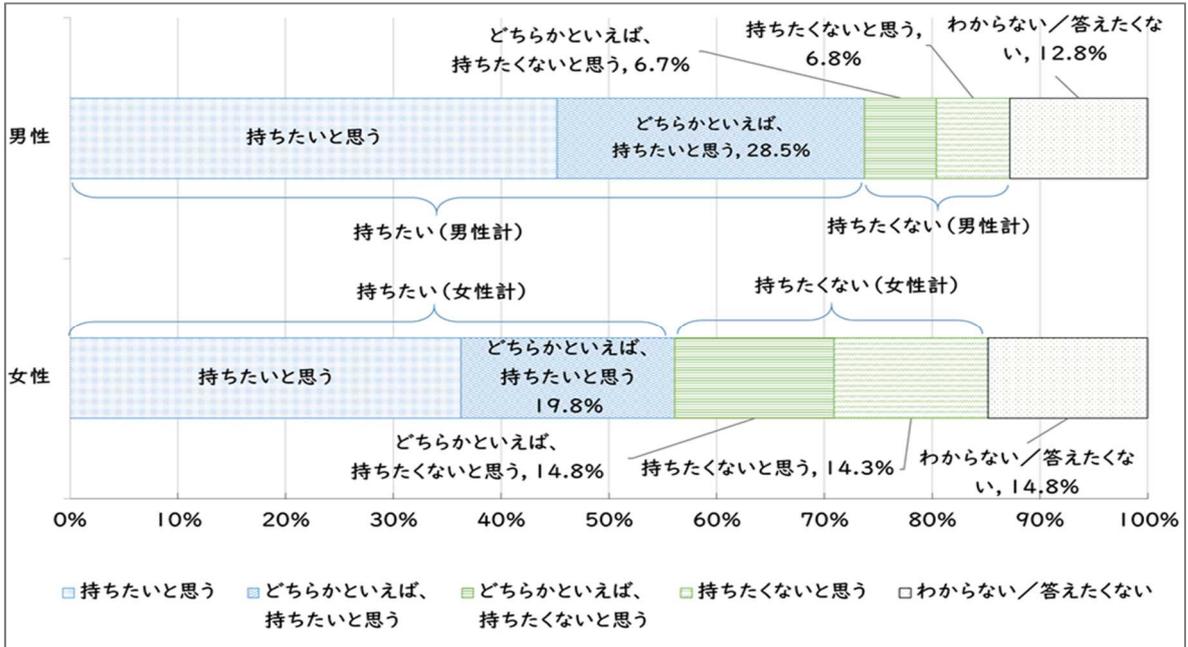
「子どもを持ちたい」と思う回答は、約7割(69.4%)。

男女別にみると、男性が7割(73.7%)に対し、女性は5割強(56.1%)と、男性の方が多い結果となった。

また「子どもを持ちたくない理由」を尋ねたところ、男性は金銭的な負担、女性は金銭的な負担に加えて、心身の負担や仕事の両立の難しさなど、子どもを産み育てることに対し、様々な負担感を感じている様子が見えてくる。



<将来子どもを持ちたいか×性別>



<将来子どもを持ちたくないと思う理由×性別>

